

東海若手起業塾 2012年度 新支援プログラム

東海若手起業塾実行委員会事務局
2012.4.23 更新

● 3つの提供価値

- 長期的な視野での軸、ビジョンを固める
 - 緊急性高い日々の経営支援ではなく、事業継続に欠かすことが出来ない重要性の経営支援
- 外部のチカラを上手く活かすことが出来るチカラをつける
 - メンターからアドバイスをもらう機会、活かし方を実践する
 - メンターなど地域のリソースとつながる機会を持つ
- 自ら事業のマイルストーンを刻むことが出来るようになる
 - 戦略会議等を通じて、事業のリズムを作り出す



**地域課題の解決や、地域資源の活用を通じて、
東海地域を活性化させたいと考えて言える若手起業家が、
自律した事業経営をできるようになる**

● 方針転換の意図

- 起業塾が、起業家にとって、また企業・社員にとって、「チャレンジの循環」「支援の循環」を生み出すコミュニティとして、この地域に育まれて行くために。
- 起業塾の場を通じて、地域に存在する支援環境がつながって行くために。

従来の支援方針 : ハンズオン支援モデル

- 1人の起業家に担当のCDが付き、常にフォローをするハンズオン支援体制



新支援方針 : コミュニティ支援による自律モデル

- コミュニティによる事業ブラッシュアップ、マイルストーン管理の場として、合宿の充実
- コーディネーター制から、伴走者・定例報告会メンターによるコミュニティ制への切り替え
- その場を活用するためのコンシェルジュ的なコーディネーターの設置
- 自立的な起業家を選抜するための選考期間の充実

コミュニティによる事業ブラッシュアップ、マイルストーン管理の場の提供

● 集合研修(キックオフ合宿、中間合宿)

- 他団体の事業ブラッシュアップに参画することを通じて、自団体の事業ブラッシュアップを図る
 - 全期(様々なステージの起業家)が集まる事により、事業が進んでいる起業家のブラッシュアップ過程も見ること、刺激を請け合える関係づくり
- 外部からのメンターを招き、より効果的な事業のブラッシュアップを実施する
- キックオフ合宿、および中間合宿を2泊3日で実施

キックオフ合宿

- 1日目:オリエンテーション、コミュニティ形成についての研修(5期生のみ)
- 2日目:戦略会議の実施/3班に分かれて実施、ポストイットセッションなどを通じた、現状の課題の分析やビジョン作成の機会の提供。(全ての期生、実行委員会)
- 3日目:KPIの作成、アクションプランの作成(5期生のみ)/伴走者連絡会議

中間合宿

- 1日目午前:オリエンテーション(5期生のみ)
- 2日目:戦略会議の実施/3班に分かれて実施、ポストイットセッションなどを通じた、現状の課題の分析やビジョン作成の機会の提供。(全ての期生、実行委員会)
- 3日目:KPIの作成、アクションプランの作成(5期生のみ)/伴走者連絡会議
- KPI設定・修正なども合宿中に定めることにより、マイルストーン管理の徹底を実施。習慣付けを行う。
- 合宿参加のための課題提出の徹底による事業ブラッシュアップ機会の提供。

● KPI管理の徹底

- 引き続きKPI導入による、ゴール意識の徹底とマイルストーン管理の徹底を実施。

伴走者、定例報告会によるコミュニティ形成支援

● 伴走者制の導入

- 起業家1人に対し、コーディネーター1人を配置し、常にプル型のハンズオン支援体制を廃止。
- 起業家自らが事業の応援者を獲得し、プログラムの伴走者として半年間の関与をしてもらう体制の導入。
 - エントリーの応募条件として伴走者の確保を必須とする。
 - 但し、自ら見つけられない場合は、書類選考までに相談に乗ることが可能。
- 伴走者の役割
 - 起業家に寄り添い、合宿での指摘の整理や事業計画づくり、また提出課題などをサポートする。
 - 起業家の必要に応じて、進捗報告の機会や相談の機会を持つ。
 - 有償ボランティアとして、事務局より月額でサポート費を支払う。
 - 年2~3回程度の連絡会議を設置し、状況の共有を図る
- 応援者を取り込める体制づくりを進めることにより、自律したコミュニティ形成が出来るようにするための支援。

● 定例報告会の導入

- 起業家4人に対し、定例報告会メンター3人を設置。
- 定例報告会メンターへの報告機会として月1回の戦略会議を必須実施
 - 3名のメンターに向けて、月1回の報告会を実施し、メンターからリソースを引き出せるようにする
 - 月1回の機会を必ず持つことで、自らマイルストーンを刻むことを身につける／自力で戦略会議を実施し、活かせる様にする。
- 戦略会議の習慣付けにより、自力でのコミュニティ形成を促す。

起業塾の場を活用するためのコンシェルジュ的なコーディネーターの設置

- **事務局内に、常に気軽に相談できるコーディネーターを設置**
 - 起業家4名に対し、1名のコーディネーターを設置。
 - コーディネーターの役割：起業塾を活用するためのコンシェルジュ
 - 起業塾の活かし方などの相談を気軽に行う
 - 起業家の情報を常にキャッチアップする中で、起業家を先回りしてサポートする
 - 伴走者のフォローを実施する

- **起業塾活用のためのアドバイザー**
 - 起業塾OBOG、実行委員など関係者をより身近にすることにより、起業塾の場をより活かせる体制へ。
 - 合宿などの機会を通じて、より気軽にアドバイスをもらえる関係性の形成
 - 起業塾期間前などに置いても、起業塾の活かし方に関する相談が出来る体制へ

● 支援対象起業家 4名程度

- 同期の起業家同士の学び合い、また切磋琢磨の機会
- 既に事業計画があり、動き始めている（※従来から変更なし）
- 特別研究員の設置
 - 本線に残れなかった起業家もオブザーブとして合宿へ参加できる

● 事務局のフォロー体制

- 起業家のフォロー、また研修実施における事務局機能の設置

● ブラザー工業からの複合機の提供

- 支援対象となる起業家への複合機の提供

● その他、情報共有機会などの提供

- MLでの情報共有などの実施
- 月1回事業報告書の提出

自立的な起業家を選抜するための選考期間の充実

● エントリーシートの充実

- ブラッシュアップ研修を通じて、2回目の資料提出の機会を実施
 - 自身の事業をより見つめ直す機会、整理する機会として利用
 - 起業塾を長期的なビジョン作成の場として活用できるかの確認の場とする

● オリエンテーションを強化した研修の実施

- 事業のブラッシュアップを実施するブラッシュアップ研修へ
- 概要

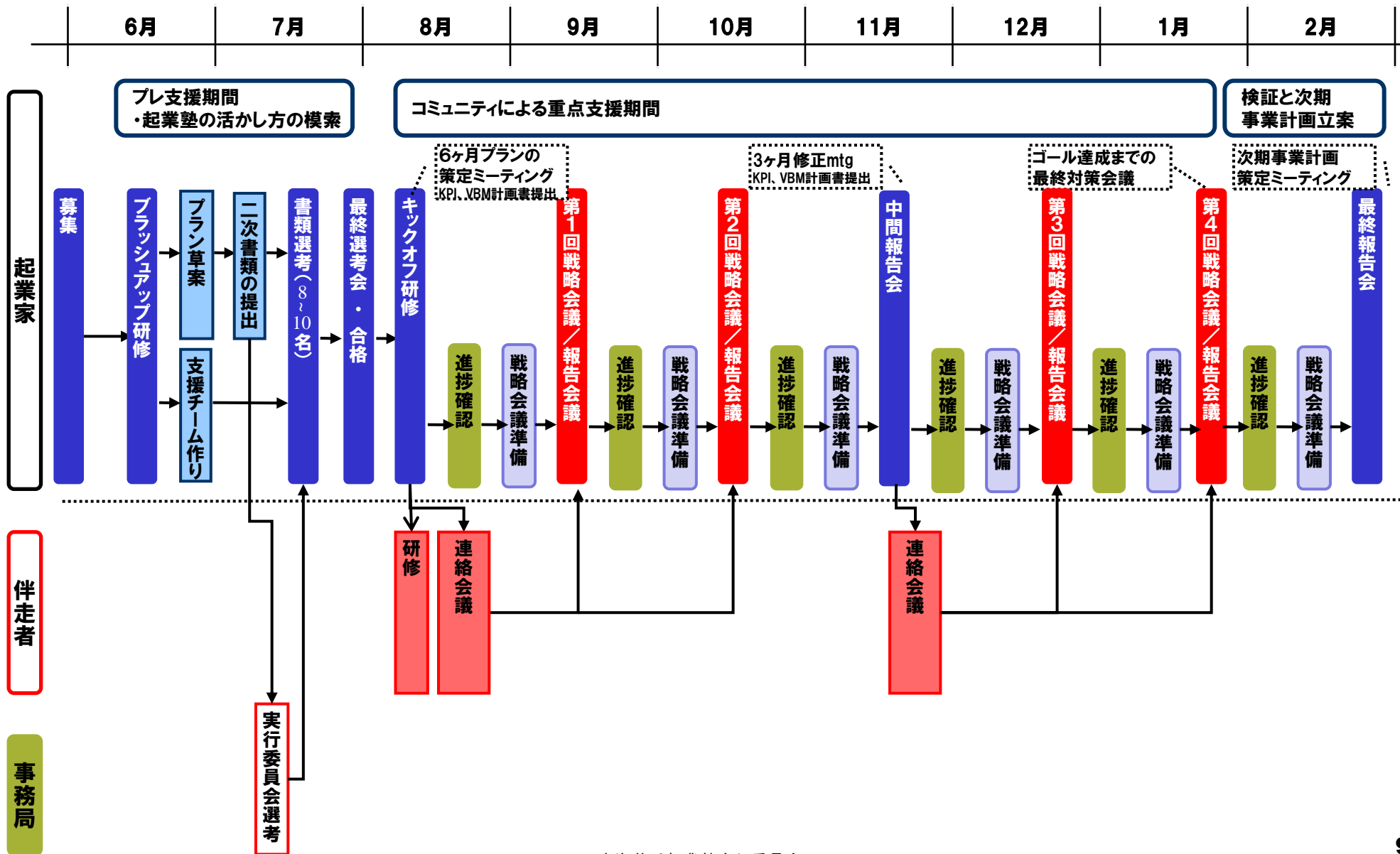
対象: エントリー者全員

内容: 起業塾の活かし方、起業塾コミュニティの活かし方について、事業プランのブラッシュアップ研修(事業実施に当たってのマインド設定、ニーズ等の深堀など)などを予定

日時: 6月18日(月) 10:00-18:00を予定

場所: ブラザーコミュニケーションスペース

2ヶ月の選考期間を通して4名の起業家を選抜。その後、7ヶ月の支援期間へ。



● 伴走者

- 起業家の応援者としてこのプログラム参加を常に伴走する【有償ボランティア】

● メンター

- 定例報告会メンター：月に1回起業家から報告を受ける方
- プログラムメンター：集合研修にご参加いただく方
- 起業塾サポーター：個々の起業家にあわせて戦略会議などにご参加頂く方

● 事務局

- コーディネーター
- サポートスタッフ